

機能安全規格 ISO 26262 ASIL-D に準拠した ソフトウェア開発プロセス認証を取得 ～国際認証規格への準備完了～

株式会社 ヴィッツ、株式会社 東芝、パナソニック株式会社（あいうえお順）の3社は、2011年11月15日に発行された自動車向け機能安全国際規格 ISO 26262 のソフトウェア開発プロセス認証を国際認証機関である TÜV SÜD から同時に取得しました。

取得したプロセス認証は、ISO 26262 規格の ASIL-D（最高安全度水準）まで対応可能なプロセス認証です。

株式会社 ヴィッツは、過去(2010年3月)に取得した「IEC 61508 SIL3 のソフトウェア開発プロセス認証」の取得経験を活用した認証取得支援事業を 2011年4月より開始し、同時に、他社と相互協力による ISO 26262 認証取得活動を開始しました。2011年6月および11月にドイツミュンヘンでのテクニカルミーティング、2012年1月に日本での最終監査を行い、2012年1月末までに合格の判定を受け、2012年2月末～3月中旬に上記3社は認証を取得しました。

尚、IEC 61508 および ISO 26262 共に対応したソフトウェア開発プロセス認証取得はヴィッツのみとなります。

ISO 26262 とは

機能安全規格 ISO 26262 は、欧州が中心となって策定した、自動車向け電気/電子/プログラマブル装置を対象とする安全規格です。この ISO 26262 は分野ごとに規定される機能安全規格の自動車向けの規格であり、この規格にて安全度水準（ASIL; Automotive Safety Integrity Level）が4段階（ASILA～ ASILD）に定められています。

ISO 26262 をはじめとする機能安全規格の目的の一つに、説明責任を果たすことが挙げられます。すなわち「対象製品がなぜ安全を担保できる製品であるかを客観的に説明する」“説明力”が重要になります。機能安全規格では、製品の安全を担保する技術的な対策と安全を客観的に説明するエビデンスの作成が要求されています。国際市場において安全に関する客観的な説明力は、今後ますます重要となりつつあり、機能安全規格はその中核を担うと考えられています。

ISO 26262 ソフトウェア開発プロセス認証 とは

自動車の安全性を担保するには、自動車メーカーのみで自動車全体の安全を保証することは困難です。自動車の構成部品は、それぞれの部品メーカーが安全を保証することが重要になります。

ISO 26262 ソフトウェア開発プロセス認証は、取得した企業の“ソフトウェア開発プロセスが ISO 26262 規格が要求する安全なソフトウェア開発活動が含まれており、かつ、ソフトウェア開発がプロセスに従い確実に実施できる企業”であることを独立した第三者機関（今回はドイツ TÜV SÜD）が認証するというスキームです。そのため、認証取得企業が取得した開発プロセスに準拠して開発したソフトウェア製品は、ISO 26262 が要求する安全度レベルを満たすソフトウェア製品であると主張することができ、セットメーカーがソフトウェアのソフトウェア受入検査において、ISO 26262 の検証を大幅に削減することが可能となります。また、副次的な効果として、認証取得企業は、自社の開発能力が ISO 26262 に準拠可能であることを、国際市場で認知されるという効果があります。

名古屋大学 大学院情報科学研究科 教授 高田広章 氏のコメント

この度、株式会社ヴィッツおよび同社が支援した企業が、ISO 26262 に準拠したソフトウェア開発プロセスの認証を、世界に先駆けて取得されたことをお祝い申し上げます。昨今、自動車の電子制御の急速な普及に伴い、電子制御システムの安全性を向上させるとともに、その安全性を説明する能力が今まで以上に必要になってきてお

ります。ISO 26262 に対応するためには、規格で要求される技術手法を適用することによって、システムの安全性を説明するためのエビデンスを、国際的に通用する形で作成しなければなりません。今回の成果は、我が国のものづくり産業の説明能力の強化に役立つものと期待しています。

また、今回の認証取得は、私が研究総括代表を務めさせていただいた「平成 18 年度 戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）、通称：サポイン事業」の採択テーマの成果をベースとしたものです。研究総括代表としては、サポイン事業の趣旨である、川上企業（中小企業）の技術力強化が川下企業（大企業）の下支えとなり国際競争力を維持・発展するという理想的な成果となったことに感謝しています。

株式会社ヴィッツには、引き続き、ものづくり企業に対する支援ビジネスに力を入れ、我が国のものづくり産業の競争力強化に貢献されることを期待します。

株式会社ヴィッツ 代表取締役 脇田周爾のコメント

この度、弊社は自動車向け機能安全規格 ISO 26262 ASIL D のソフトウェア開発プロセス認証を取得し、2010 年に取得した IEC 61508 SIL3 プロセス認証とあわせ、産業機械や自動車など幅広い分野にわたり機能安全対応のソフトウェア開発ができる環境が整いました。

今後、弊社は今回実施した認証取得支援事業を充実させ、より多くの国内企業に弊社の経験を活かしたサービスを提供し、かつ、機能安全対応が求められる製品には、弊社のソフトウェア開発プロセスを活用した開発支援サービスを提供していきたいと考えております。

今回の活動は、経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業の研究成果を利活用しました。弊社のような中小企業がこのような成果をあげることができたのは、この研究支援事業によるところが大きく、関係各位には心から感謝しております。

お問い合わせ先

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

株式会社ヴィッツ

総務部：安場、佐藤（技術的内容；組込制御開発部：服部、森川）

TEL: (052) 220-1218